

農村部の貧困に苦しむ人々の
やる気と自信を引き出すために

「自分たちの道は自分たちで直せる」

という意識を広げたい

2020年度上期活動概要



外務省 NGO 連携無償資金協力事業での道路開通式（ウガンダ）

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、駐在員の一時帰国を余儀なくされ（ウガンダ事務所駐在の岩村職員は約6か月間日本国内で業務後、10月に帰任）、日本人専門家を派遣できていません。そこで、日本人担当者はオンライン会議で、現地スタッフとの連絡調整を密にしています。彼らが感染予防の対策をしつつ（上記写真でも皆マスクを着用）、現場活動を進めています。事業期間の延長や活動の一部縮小など影響も出ていますが、例年に近い規模で事業を実施しています。



認定 NPO 法人 **道普請人**
みちぶしんびと

2020年度上半期活動内容

主な活動	2020					
	4	5	6	7	8	9
ケニア						
経団連自然保護基金、道直し・環境保全プロジェクト(木村、福林、岩村)						
公益社団法人日本国際民間協力会(NICCO)とのパートナーシップ事業(木村、福林、岩村) * 1						
ルワンダ						
外務省R1年度NGO連携無償資金協力事業(木村、岩村、千葉)						
ブルキナファソ						
日本国際協力財団助成、バンフォラ市内道路整備事業(木村、森重)						
外務省R1年度NGO連携無償資金協力事業(木村、森重、田川)						
ウガンダ						
外務省R1年度NGO連携無償資金協力事業(木村、岩村)						
TOYOTA環境活動助成、環境・森林保全プロジェクト(木村、福林、岩村)						
TOTO水環境基金、給水・環境保全プロジェクト(木村、福林、岩村)						
UNDP日本政府補正予算事業 道直し・環境保全・生計向上事業(木村、福林、岩村) * 2						
ミャンマー						
日本国際協力財団の助成(福林、斎藤)						
国内						
広報活動(木村、岸田、日下部、田中(稔)、瀧川、児島、若山、中井、福林、須摩谷)						

* 1ケニア事務所契約事業
* 2ウガンダ事務所契約事業

主な助成事業等

事業名： 植林の担い手である農民組織と地元 NGO、政府機関をまきこんで行うケニア山麓ガディウル森林保全

資金協力団体：「公益信託経団連自然保護基金」2020年度
事業期間：2020年4月から2021年3月(ケニア)

事業名： 若者の持続的な雇用創出に向けた現地資材を活用した労働集約型未舗装道路整備事業 第3フェーズ

資金協力団体：外務省、平成29年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間：2020年3月から2021年3月(第3フェーズ)(ルワンダ)

事業名： ブルキナファソ西部における住民参加型地方道路整備事業 第3フェーズ

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団
事業期間：2019年4月から2020年10月(ブルキナファソ)

事業名： 都市型自治体の女性雇用による労働集約型未舗装道路整備支援と、雇用女性の金融包摂・零細起業による生計安定支援事業 (第1期)

資金協力団体：外務省、令和元年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間：2019年12月から2020年12月(ブルキナファソ)

事業名： 現地の材料と地元の若者参加型で行う土のう工法を用いたコミュニティ・アクセス道路補修事業 (第2期)

資金協力団体：外務省、令和元年度日本 NGO 連携無償資金協力
事業期間：2020年2月から2021年1月(ウガンダ)

事業名： ブドウダ県 脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践する土壌保全とレジリエンス強化

資金協力団体：「トヨタ環境活動助成プログラム」2019年度
事業期間：2020年1月から2020年12月(第2期)(ウガンダ)

事業名： ビクトリア湖ジンガ島の安全な水へのアクセス向上と緑化推進

資金協力団体：第15回 TOTO 水環境基金
事業期間：2020年4月から2021年3月(ウガンダ)

事業名： マグウェ地域シンバウウェ地区における住民参加での農道整備事業

資金協力団体：財団法人日本国際協力財団
事業期間：2020年4月から2021年3月(ミャンマー)

主な広報活動

月日	内容
6月5日	2018年ガンビアでのILOとの連携事業が、2019年版開発協力白書、日本の国際協力、コラム「国際協力の現場から」に取り上げられました。
7月3日	JICA 広報誌「mundi」7月号に木村理事長のインタビュー記事が掲載されました。ぜひご一読ください。
7月31日	「国際開発ジャーナル 8月号」の「論説委員視点」に、「アフリカにおける草の根 NGO 戦略 サブサハラ諸国で事業の全面展開を目指す」と題した木村理事長の論考が掲載されました。
8月3日	令和元年度外務省日本 NGO 連携無償資金協力事業で、ウガンダ西部チェンジョジョ県にて55名の若者及び道路維持管理者を対象に土のうを用いた道直し訓練を実施し、その様子が現地ニュースに取り上げられました。
8月31日	ルワンダにおける令和元年度外務省日本 NGO 連携無償資金協力事業で、同国キレヘ郡での道直し訓練の様子がルワンダ主要全国紙の一つ Imbaho nsya で取り上げられました。

活動報告

ルワンダ

- キレヘ郡では、知事も道直し訓練を体験しました。そして、道普請人が訓練をした組合に対して、郡の道路整備事業を積極的に発注することを発表しました。
- ンゴロレロ郡では、傾斜地で雨水の表面流による土壌浸食が深刻な問題となっていました。そこで、土のう工法と植生工を組み合わせた施工を行いました。



知事が訓練参加



ンゴロレロ郡でのパイロット施工

ケニア

- ニェリ郡のガティウル森林復元のため、地元農民グループとともに育苗場の管理や運営に関する講義を行いました。
- 日本の NGO NICCO との連携にて、キスム郡のヘルスセンターへのアクセス道路 140m を整備しました。患者ら利用者のアクセス向上に、貢献しています。



ニェリ郡での育苗場管理訓練



N連パートナー事業での道直し

ブルキナファソ

- 新型コロナウイルスの影響など様々な制約がありましたが、N連事業の全国研修準備としてバンフォラ市で216mの整備工事を、現地スタッフが中心となり実施しました。
- インフラ省と、土のう工法の普及事業に関する覚書を締結することができました。大臣承認が必要で時間を要しましたが、政府公認の工法となり、西アフリカでの普及にはずみがつきました。



土のう工事



側溝工事



工事前



工事後

ウガンダ

- チェンジョジョ県・ブニャンガブ県の若者計105名に、道直し訓練を実施し、合計810mを補修しその通行性が向上しました。
- ビクトリア湖ジンガ島にて新規給水・環境事業を開始し、4村に合計24基の雨水集水タンクを設置しました。また、ブドウダ県にて地元農民グループを対象に土壌保全のための段々畑作成訓練を行いました。



ジンガ島での給水タンク設置



段々畑作成訓練

施工延長(2020年9月末日現在)

	累計(m)	2020年度 上期(m)
ケニア	31,467	140
ルワンダ	3,774	752
ブルキナファソ	8,361	216
ウガンダ	9,338	810
その他25国	131,064	0
合計	184,004	1,918

認定NPO法人です!

京都市より「運営組織及び事業活動が適正であり公益の増進に資する」と認定を受けています。当団体へのご寄付は税制優遇の対象となります。詳しくは当団体ホームページへ

問合せ先

NPO 法人 道普請人
事務局: 福林良典
Tel: 075-343-7244
E-mail: info@coreroad.org
URL: <http://coreroad.org/>